

〔国際会議発表〕

発表研究者	金沢大学 自然科学研究科 後期博士課程 野尻 晴太	2232110
参加会議	International Conference on Intelligent Robot and System (IROS)	
開催場所	アメリカミシガン州デトロイト市	
出張期間	2023年10月1日～2023年10月5日（5日間）	
発表論文	Flexible and slim device switching air blowing and suction by a single airflow control	

概要：

IROSはロボット工学分野における世界トップレベルの国際会議である。今回の論文採択率は、40%程度であり、厳選された発表が集まった。規模も大きく、今回も現地の会場には4000人以上のロボット工学に携わる人々が集まった。私はこの国際会議で、「Flexible and slim device switching air blowing and suction by a single airflow control」というタイトルで発表した。具体的には、一本の配管から送る空気の流量制御だけで、送風から吸引までを実現するやわらかいデバイスについて発表した。このデバイスの送風と吸引の切り替えには、空気を送るときにデバイスにかかる圧力で、シリコーンで作られた構造が変形し、弁を開閉するという仕組みになっている。これを実現する構造の新規性は良い評価をいただいていた。

今回は、各発表につき、口頭発表の後、ポスター発表という2部構成となっており、自身の研究をアピールする場が豊富に設けられていた。私は、英語での口頭発表は初めてであったが、発表練習や資料の工夫で会場に自身の研究をアピールできたと考えている。またポスター発表では、発表時間の間、絶え間なく人が訪れていた。動作の様子は動画を見せたり、デバイスを実際に触ってもらい、やわらかさを確かめてもらったりして自分の成果をアピールできたと考えている。来ていただいた方との議論することで、成果を発信することに対する自信につながったとともに、今後の自身の研究に役立つアイデアをたくさんいただくことができた。このように、世界トップレベルの研究者が集まる国際会議で、口頭発表とポスター発表を両方経験できたことは、大変有意義であった。